

京都工芸繊維大学大学院

工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）

建築学専攻

外国人留学生特別入試

令和6年度（令和6年4月入学）入学試験問題

小論文

以下の点に注意すること。

1. 解答用紙の受験番号欄に受験番号を記入しなさい。
2. 【1】から【3】の中から1つの問題を選択し、必ず問題番号を解答用紙の最初の行に記入してから解答しなさい。
3. 下書用紙は自由に使用してかまいません。

【1】以下の3つの問いについて、すべて答えなさい。

問1 建築史にかかわる次の語句から5つを選び、それぞれを説明しなさい。（各日本語100字程度）

1. 法隆寺五重塔
2. 春日造
3. 円覚寺舍利殿
4. 野小屋
5. 書院造
6. 如庵
7. 『营造法式』
8. パルテノン神殿
9. パルセロナ・パヴィリオン
10. 富岡製糸場
11. 村野藤吾
12. 登録有形文化財

問2 法隆寺（西院伽藍）について、創建時から近世までの伽藍配置の変化と建築的改変について説明しなさい。（日本語400字程度）

問3 歴史的町並みの中において建物を新築する際には、どのような側面に配慮して設計すべきか。日本における木造伝統建築が建ち並ぶ町並みを念頭において論じなさい。（日本語400字程度）

【2】以下の設問にすべて答えなさい。

風土とは、住民の慣習や文化に影響を及ぼす、その土地の気候・地形・地質などの性質を指す。また、民家とは、一般の庶民が暮らしてきた伝統的な住まいである。民家の多くは、建っている土地で手に入られる材料を用い、気候や地形といった風土を反映したかたちでつくられてきた。

問1 以下の図は、高温多湿の気候を持つ地域の住まいにおける、さまざまな空間的工夫を示したものである。それぞれの空間において、気候対策としてどのようなことが考えられているのか考察せよ。

(500文字以下)

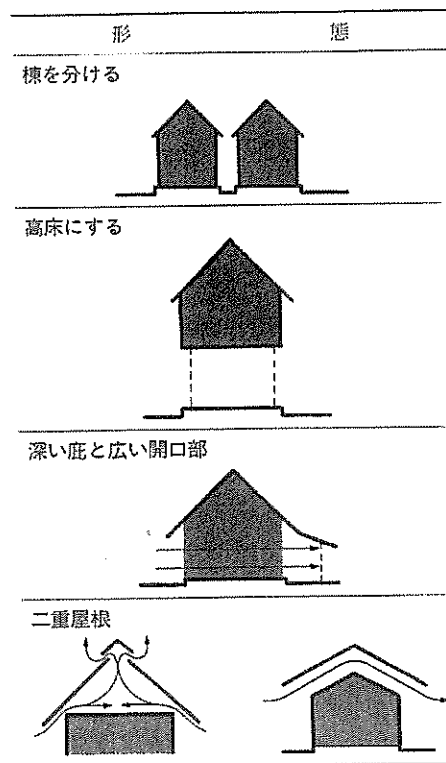


図1 高温多湿に対する空間的工夫

問2 日本は南北に長く、亜熱帯から亜寒帯まで地域によってその気候が異なる。さらに、山地が多く四方を海に囲まれた島国であるため、山間部・平野部・臨海部といった地形ごとにも異なる特徴を持つ。以下の図2～4は、日本のさまざまな地域における民家のかたちを示したものである。それぞれ、どのような風土のもとで、このような異なるかたちが生まれるに至ったのかを、さまざまな観点から考察しなさい。(500文字以上1000文字以下)

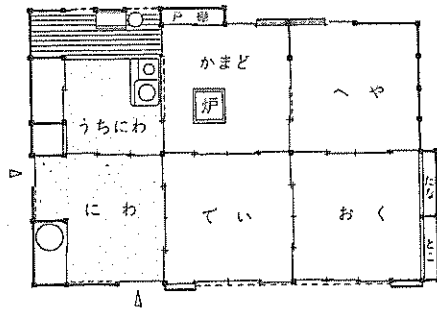


図2 滋賀県の農村住宅の平面図

*てい (集まりのための部屋)、へや (寝室)

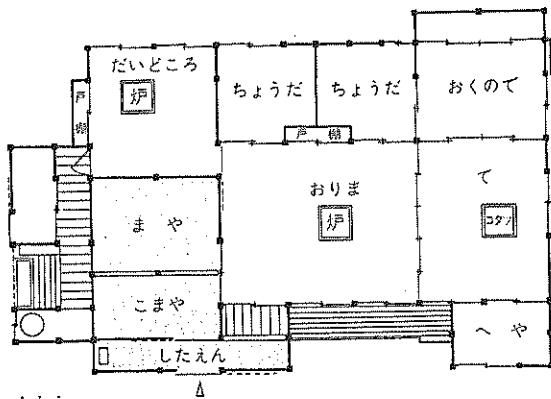
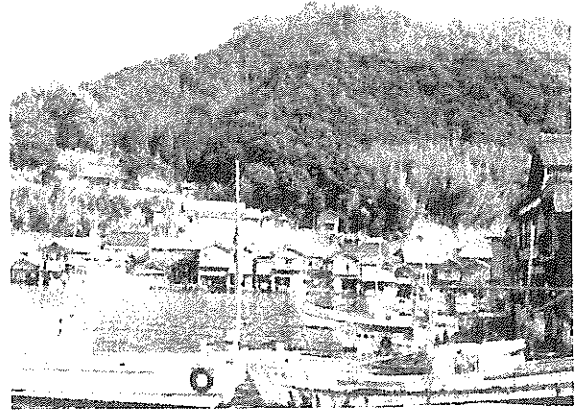


図3 岐阜県の農村住宅の平面図

*おりま (集まりのための部屋)、ちょうだ (寝室)



図4 京都府の漁村住宅の形態

問3 あなたが生まれ育った国の、一般の庶民が暮らしてきた伝統的な住まいとしての民家を挙げ、以下のことについて図を適宜用いて説明しなさい。(500文字以上1000文字以下)

- ① 住まいのかたちの特徴
- ② 住まいのかたちと風土との関係

図1～4の出典：

岡田光正・柏原士郎・森田孝夫・鈴木克彦・吉村英祐：現代建築学〔新訂〕建築計画1、鹿島出版会、2016

【3】 以下の設問にすべて答えなさい。

問1 図1の構造物について以下の問い(1)～(3)に答えなさい。

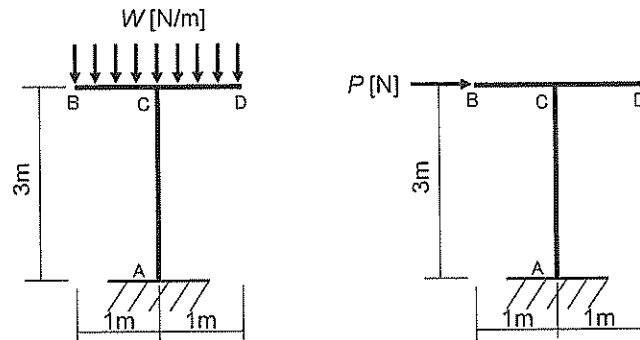


図1 構造物

- (1) 図1の構造物で荷重の条件が異なる2つの場合について、それぞれの軸力図、せん断力図、曲げモーメント図を描きなさい。
- (2) (1)の構造システムが用いられている実際の構造物の事例を示しなさい。図を用いても良い。
- (3) (1)の鉛直荷重、水平荷重の力の流れを説明し、地震時には、どの部分が壊れやすいかを説明しなさい。なお、地震時とは、鉛直荷重と水平荷重を足し合わせた状態である。

問2 自然災害、建築構造技術について以下の問い(1)と(2)に答えなさい。

- (1) 出身国の自然災害について、以下の点をふまえて説明しなさい。
 - ① 自然災害の種類とその特徴
 - ② 建物への被害
- (2) (1)で述べた自然災害による被害を少なくするために、出身国の建物は建築構造技術についてどのような工夫がなされているか述べなさい。また、出身国と日本の建築構造技術を比較し、論じなさい。

(合計で3000字程度)

京都工芸繊維大学大学院

工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）

建築学専攻

外国人留学生特別入試

令和6年度（令和6年4月入学）入学試験問題

設計

以下の点に注意すること。

1. 解答用紙はA2版ケント紙が1枚です。解答用紙は試験終了後に回収します。
2. 下書用紙はA2版トレーシングペーパーが2枚です。下書用紙も2枚とも試験終了後に回収します。
3. すべての解答用紙と下書用紙の受験番号欄（右下部の枠内）に受験番号を記入しなさい。

課題：「宿泊施設のある観光案内所」

世界有数の観光都市である京都において、外国人の旅行者を対象とした「観光案内所」(ツーリスト・インフォメーションセンター)を計画する。外国人向けの観光情報の提供だけでなく、低コストの宿泊施設、レストランを併設し、レンタサイクルの貸し出しも行うなど、さまざまな人々が利用できる開かれた施設とすることが望まれる。

【敷地】

敷地は、美術館、図書館、ホールなど文化施設が集まる「文化ゾーン」の南側で、北と東には、道を挟んで川が流れ、川沿いには並木がある。南側は閑静な住宅街が広がっている。

敷地の形状、道路、川との関係、方位は別紙のとおりである。

敷地は平坦で前面道路との高低差はない。

【構造・規模】

構造形式は自由とする。

階数は2階建て以下。

延べ床面積は450㎡程度

(ただし、ピロティ、バルコニー、テラス、屋外階段、庇だけの半屋外空間は、延べ床面積に含めないものとする。また、建築関連法令に関しては、特に配慮する必要はない。)

【所要室】

- | | | |
|-------------|----------|---------------------------|
| ・ エントランスホール | 50㎡ | 情報提供カウンター、情報検索コーナー、などを含む。 |
| ・ ラウンジ | 50㎡ | |
| ・ ライブラリー | 25㎡ | |
| ・ 事務室 | 25㎡ | |
| ・ レストラン | 50㎡ | |
| ・ 厨房 | 20㎡ | |
| ・ 宿泊室 | 20㎡ × 4室 | 各室にユニットバスを設ける |
| ・ リネン室 | 10㎡ | |
| ・ 機械室 | 10㎡ | |
| ・ その他 | | 廊下、階段、トイレ、倉庫などを適宜設ける |

【外構】

- ・ 駐車場 2台分
- ・ 駐輪場 自転車20台分 (うち10台はレンタサイクル)

【所要図面】

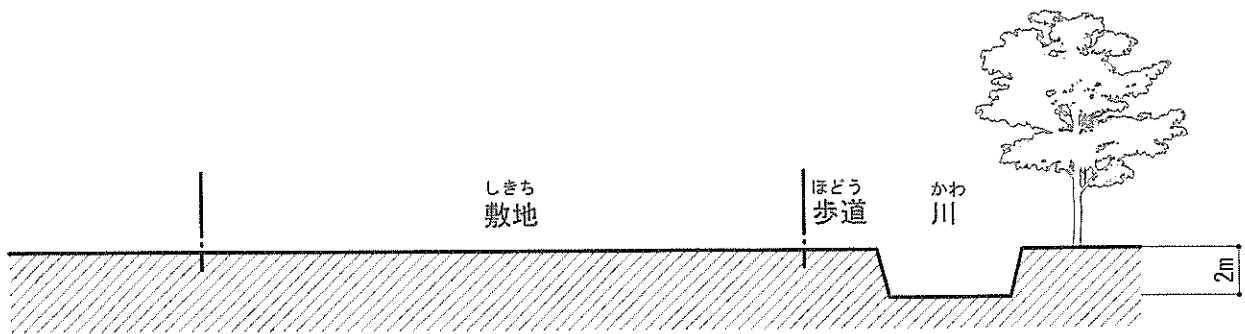
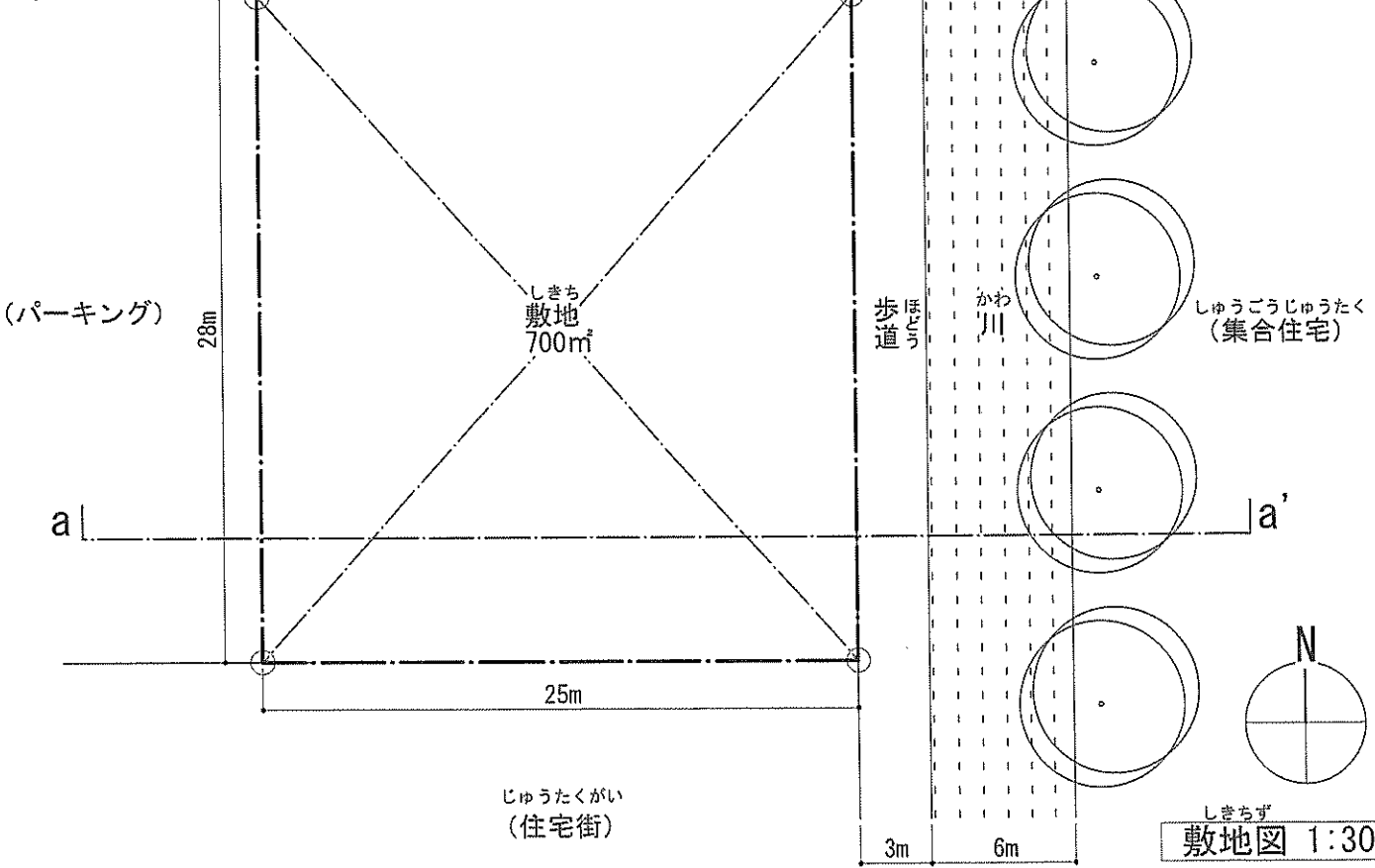
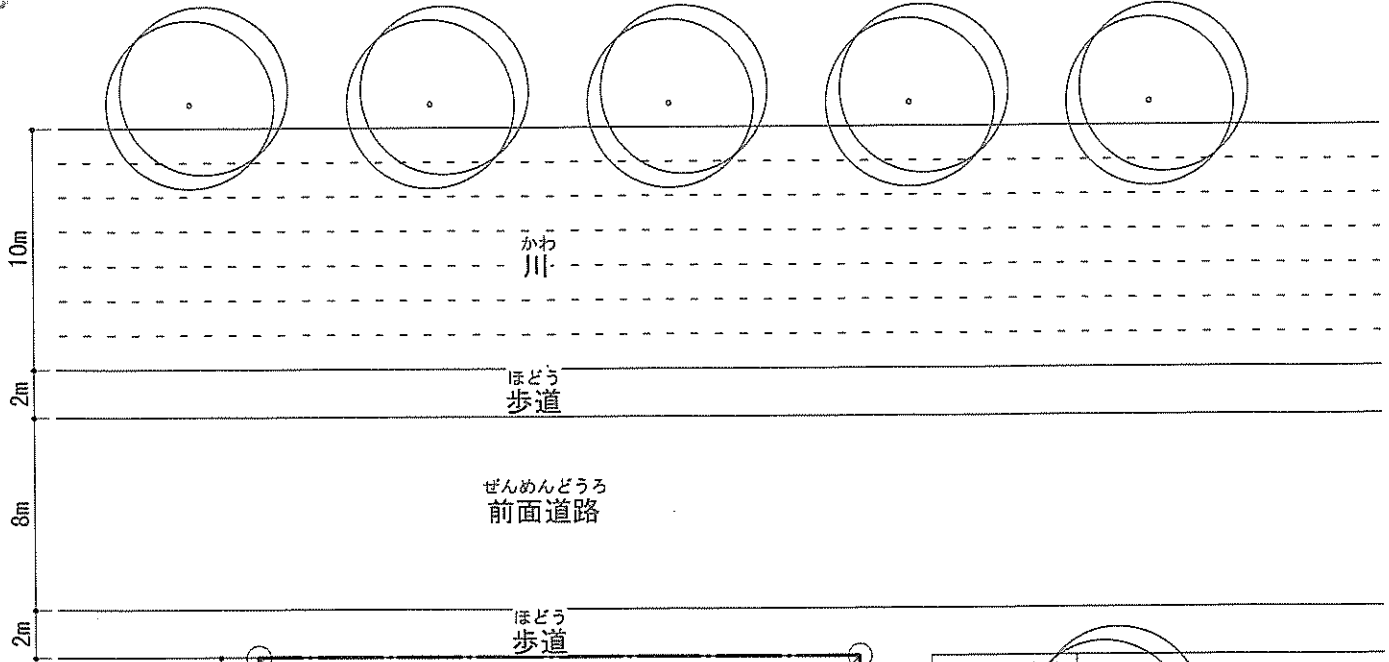
- ・ 平面図 各階 1 : 100 1階平面図は配置図を兼ねる
- ・ 立面図 2面 1 : 100 北面、東面を描く
- ・ 断面図 1面以上 1 : 100
- ・ スケッチパース 1面以上 (内観、外観は問わない)
- ・ 設計趣旨 適宜

以上をA2ケント紙(ヨコ使い)1枚にまとめること。

各図面には主要寸法を記入し、グレーの濃淡(無彩色)による表現は可能とするが、

着色は不可とする。

ぶんか
(文化ゾーン)



しきち へいたん しゅうへん こうていさ
* 敷地は平坦で、周辺と高低差はない。

だんめんず
a-a' 断面図 1:300